

「お片付け」の基本

実践資料



一級建築士事務所

ゆうけい建築事務所

「かたづけ」とは

かたづけるの意味は、

「物が散乱している場所をきちんと整頓すること。」

「置かれている物や散乱している物を収納したり、
捨てたりすること。」

整理の意味は、

「乱れているものをそろえ、ととのえること。」

「不必要なものを取り除くこと。」

本書では、かたづけ＝整理収納と定義します。

どちらも、「捨てる」「納める」です。



かたづけの前に

不要物かどうかは、所有者以外は判断できません。
所有者が複数いる場合、捨てる時には、全員の同意
が必要です。たとえ子供の物であっても、強引に
捨てる事は、トラブルの元です。

かたづけの手順

物を出す→不要物の分別→減らす
→グループごとに分ける→収納する
→物の指定場所を作る



減らす

- ①必要適正量を意識して、その量を超えないように物を減らします。
- ②処分の基準を明確にします。1年以内使用の有無で、判断すると処分しやすいです。
- ③判断に迷う物は、保留箱へ移動します。保留箱には、必ず見直し期限を定め、見直しを実施します。
- ④日用品などのかたづけしやすい物から実施し、徐々に減らす習慣を身に付けます。
- ⑤思い出の品は、写真撮影し、写真で保存する方法があります。

物を増やさない

- ①類似用途の物は、一つ増えたら一つ減らす事が、大切です。
- ②流行の品など、一時的な満足感を満たすための物などは、購入前に物のライフサイクルを考えます。

分ける

- ①同じ種類や、使用目的別に分けて、まとめます。分類は、生活様式に合わせて実施します。
- ②使用頻度別に分けます。毎日使用する物と年に数回しか使わない物は、同じ種類でも分けて収納します。使用頻度の基準は、生活様式に合わせて決めてください。

収納する

- ①使用頻度の高い物から、取りやすい場所に収納します。
- ②収納スペースに余裕を持たせ、仕切りなどを有効活用します。
- ③ラベリングなどにより、中身が明確に判るようにします。
- ④「出す→使う→戻す」のサイクルに注意して収納します。
- ⑤収納場所や方法が適切であれば、指定場所とします。

まとめ

- ①かたづけのレベルは、徐々にアップすると考えます。
結果を慌てて求めず、徐々に、かたづけの効果を
実感することが大切です。
- ②自分のかたづけルール、家族のかたづけルールを
設けると、かたづいた状態が維持されます。



家の事、何でもご相談ください

一級建築士事務所

家のちょっとした修理
お困りごとご相談下さい!

介護改修
耐震改修

ゆうけい建築事務所

伊賀市川西1738-58

☎0595-45-3227

